



令和5年11月1日

# 11月 ちびっこの森通信 vol.78

## ☆☆今月のテーマ☆☆

- ・ 季節の移り変わりに気づき、秋の風情を感じ楽しむ
- ・ ルールをよく守って、元気一杯の外遊びで健康増進をはかる



### ひよこぐみ(0歳児)



想定外の早さと居座りがつづいた今年の暑さが遅ればせながら先月落ち着きを見せ、本来の季節へと移ろいはじめた今日この頃。みんなにとってバギーでの移動とはなりますが、紅葉した木々や花々に目を奪われるお散歩を楽しんでいます。その中でも、こどもたちがお気に入りなのがJRや広電の電車が間近に見える線路脇の特等席のお散歩コースとなっています。何度か来ているので定位置にバギーを止めると今か今かと待ち受ける表情が何とも言えず微笑ましい感じです。これからいろんな所に出掛けて秋探しをしていこうと思います。今月は初めての運動会でハプニングもあるかもしれませんが、今のこどもたちのまが表現できればと思いますのでよろしくお願ひします。



### うさぎぐみ(1歳児)



先々月と違って変わって先月は清々しい外遊びに適した気候の下、公園に寺院の境内など秋探し三昧で楽しいひとときを過ごしています。最近、こどもたちの言葉もお散歩中に見聞きするカラスの「カア、カア～」と泣き真似をしたり、行き交う車道で見つけた車両の色を「○○」と言い当てたりと豊富になってきたのには驚かされています。また、マンション横の脇道では生垣で動き回る昆虫に皿のような目で観察したり、恐々と手で触ったりと自然探索をする姿が見られます。お友だち同士の関係性では自我確立途上ですが、言葉で自分の思いを伝えたり、相手の気持ちを汲んだりコミュニケーションの扉を広げていこうとしています。今月の運動会ではそんな成長したこどもたちの姿が垣間見れるといいなあ～と思っています。よろしくお願ひします。



### ぱんだぐみ(2歳児)



お寝坊さんの「秋」が深い眠りが覚め、ようやく歯みがきなど外出準備が整ったようで秋めいてきました。ですから、お友だちも先々月の短時間でサウナ風呂状態といった悲惨な状態から悠々適な秋三昧に浸っています。こどもたちのお散歩コースの行く先々では熟した柿の木、松ぼっくりやどんぐりなどの木の実、コスモスなどの秋の花々を目にすることができ、季節の移ろいを肌で感じる日々となっています。先月は「スポーツの日」や「目の愛護デー」などの行事の由来を知り、日常生活における関係性などを一人ひとりが実感したようでした。今後も古来より受け継がれている伝統行事などの意味合いを知り、受け継がれていくことを望みます。今月は当園の年々少児として最後の運動会となりますので各競技、全力を出し切っていけるように見守っていきたいと思います。よろしくお願ひします。

### ～保育のポイント～

ローマの道徳哲学的エッセイストのM.T.キケロはただ言語を話すだけではなく、よりの確に、またより美しく話したり、立派な文章を書くことを「より人間的なこと」と名付けていました。また、ドイツの哲学者カントの影響を受けたF・ニートハンマーは「いっそう人間的になるように勉強すること」を「ヒューマニズム」と呼びました。ここで幼児の言葉の発達状況を振り返ると、生後数か月で泣き声の他に唇を使った無意味な発音「バブリング」をはじめます。その後も母親からの絶え間ない言葉の刺激を受け、掴まり立ちから歩行期には「バブバブ」などの発音をはじめると共に、言葉の理解ができるようになります。遺伝子によって、妥当な言葉刺激の環境があれば着々と言語脳が出来上がることが分かっています。1歳半頃の二語文、2歳過ぎの三語文といった具合に生後1～2年間の言語能力の発達には目を見張るものがあり、次第に物や色の名称の他に自分と相手という一人称や二人称の観念から三人称と言葉の概念が広がります。3歳では数の概念、5歳では左右といった抽象的な概念も出て来て、言葉でしゃべれるようになってきます。つまり言語の獲得とは、幼児が自分の考えを周囲にある言葉の中から探し出し、当てはめてゆく作業といえます。さらに試行錯誤を繰り返して脳の思考機構の中に高次の概念とそれを表現する構文等が獲得されていくと考えられています。これらの言語の獲得には脳の臨界期があるということから社会から隔離された(狼に育てられた)少女が11～13歳で発見された後、言語の獲得が極めて困難だった例からも理解できると思います。諺「鉄は熱いうちに打て」にあるように未就学期の(語りかけや絵本の読み聞かせなど)言葉の刺激環境の重要性を改めて理解していく機会になれば幸いです。



今年、春先から姿を現した酷暑が陰り、本来の乾燥した低い気温の気候が定着し始めました。そんな中では(急な)寒暖差疲労からくる体調不調による「免疫力の低下」でインフルエンザウイルスなどの感染症になりやすくなるのはご存知の通りです。その免疫力を維持していくのに必要なことは十分な(安息)睡眠と適度な運動、そしてストレスを溜めないことが必要です。私たちの免疫には、白血球、自律神経に腸内細菌などが有機的に機能し、ウイルスなどの病原体が体内に侵入するのを防ぎ、感染予防の効果を発揮してくれることとなります。これが有効に機能させるには①腸内環境を整え、②(体内に取り込まれる酸素も過剰だと害となることから)活性酸素を除去する力を保つ、ことが必要となってきます。次に、日々の食生活ではどのようなことに気をつけていけばいいのでしょうか？まずは、①(夏場でも取り上げましたが)体内に冷たい飲食物は控えること、②ビタミン類、植物繊維やポリフェノール※などが含まれている(きのこ、海藻なども含む)緑黄色野菜や発酵食品の摂取、③身体の細胞や免疫物質組成に必要な(肉、魚、卵、大豆や乳製品)たんぱく質の摂取。このような生活習慣から季節の変化にも太刀打ちできる免疫力維持が図られることで生物などが生まれながらにして持っている、ケガや病気を治す力・機能の自然治癒力を高めることにも繋がります。これからの季節を元気に楽しく過ごしていけるようにしましょう。

※…植物が紫外線や害虫から身を守るために作り出す化学成分。人間にとっては、過剰な活性酸素を除去してくれる成分で、免疫力の維持向上に繋がります。

～わらべうたが子どもを救う(大島清著より抜粋)～



### ～b 今月の唄～♪

- ・きのこ
- ・まつぼっくり

### ～行事予定～

- ・親子遠足…4日
- ・英語教室…10日
- ・体操教室…13日
- ・リミック教室…14日
- ・交通安全教室…15日
- ・身体測定…17日
- ・運動会…18日
- ・誕生会…21日
- ・避難訓練…28日

